

# 二中コミュニティ・スクールだより

～市川市立第二中学校学校運営協議会～  
「夢・命・絆」

令和3年度第2号  
(通算第8号)  
会長 小林 俊之  
(文責 野手 裕之)

## 「令和3年度第2回学校運営協議会」報告

9月24日(金)午後3:30から、第2回学校運営協議会が、第二中学校の大会議室において、委員10名の出席のもとで開催されました。緊急事態宣言中ということで、当初予定されていた二中ブロック全体会は次回以降となりました。

まず、小林会長より、次のようなあいさつがありました。

6月以来今年度2回目の学校運営協議会となります。新型コロナウイルス感染症の拡大で不安な日々ではあるにもかかわらず、また、ご多忙の中、ご出席ありがとうございます。新型コロナウイルスも昨年1月から日本全国に広がり、様々な社会生活に支障をきたし、そして、教育現場においても、たくさんの行事が縮小や中止となっております。今回の協議会での議論が、コロナ禍における第二中学校での学校教育に対して少しでも役に立てばと思うとともに、通常の学校生活に戻れますように祈っております。本日の協議について、よろしくお願い致します。

協議内容については、2面以降。

### 次第

1. 協議  
(1) 学校評価について
2. 報告及び意見交換  
(1) コロナ対応について  
(2) 学校の様子について
3. その他



### 「二中おやじの会」は二中生のために健在です！

「二中おやじの会」が、6月27日(土)に、学校のプチ引っ越しのお手伝い。進路室兼PTA室2の棚を耐震対策で移動したり、女子更衣室兼PTA室1からPTAの荷物をPTA室2に移動したりしました。

コロナ禍でなかなか活動ができない中、現役2名、OB6名が、急な連絡にもかかわらず早く集まってくれました。



「二中生のために」という思いがある方、そして、年齢性別問わずに「絆」を広げたいという方、是非、ご加入を。

## 1. 協議について

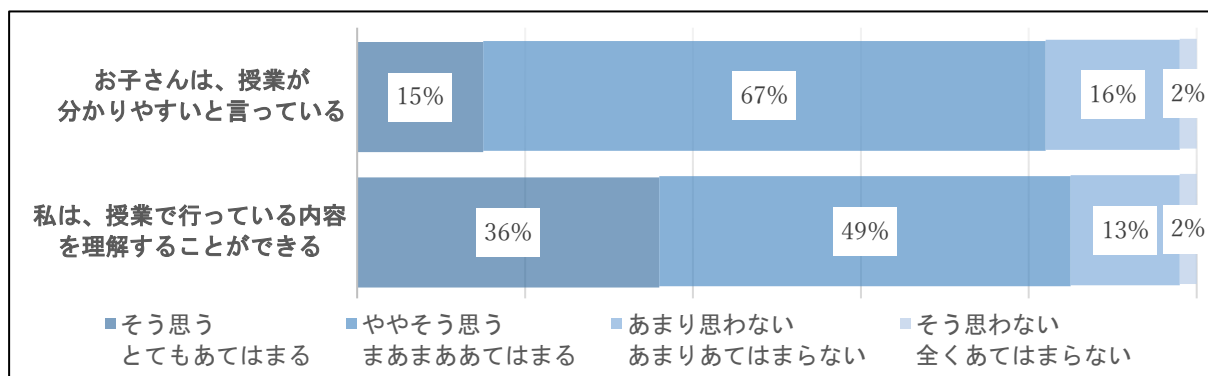
### (1) 学校評価について

石田校長より、7月に保護者と生徒へのアンケートが実施された旨、そして、○確かな学力、○豊かな心、○健やかな体、○信頼される学校のそれぞれの分類ごとに、アンケート結果について現状の分析とそれに対する学校運営の改善の方向性がありました。また、それらに対して、委員からの意見を踏まえて、今後の改善の方向性を検討していきたい旨の話がありました。

なお、保護者アンケートが紙媒体から Google フォームを使用したことに伴って、回収率が約60%と低くなっていることに対して、委員から学校として回収率の向上を図ってもらいたいという意見があり、その方向で検討を進めることになりました。

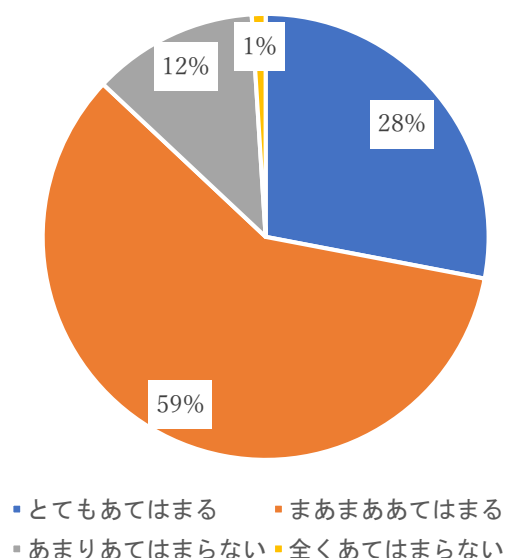
### ○「確かな学力」について

保護者アンケートにおいても生徒アンケートにおいても、授業が分かりやすく理解できていると肯定的に評価できると考えられる一方、否定的な回答もありました（下グラフ）。この点について、教職員で共有している旨の説明がありました。委員からもこの点について心配する意見がありました。「主体的・対話的で深い学び」を推進していくとともに、生徒一人一人によりきめ細やかな授業改善を進めて欲しいということが提案され、学校としてもその方向で進めていく方向となりました。



生徒アンケートにおいて、「みんなが熱心に授業に取り組んでいる学校だと思う」は、右グラフのとおり、多くの中学生が一生懸命に授業に取り組んでいることがうかがえます。

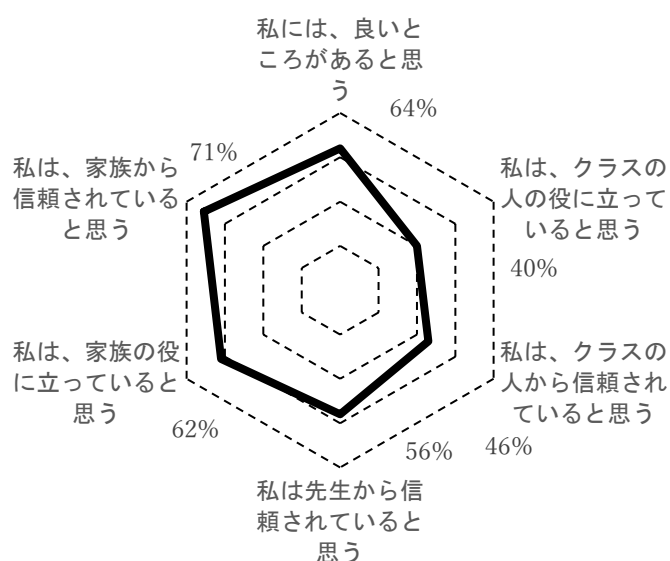
ただし、難しい内容でもあきらめないで取り組む、わからないことに対して自分で調べたり考えたりする、わからない問題でもできるまで取り組む、という点について、生徒アンケートではあてはまるがいずれも60%以上ではあるものの、二中における「深い学びを育む探求心の育成」ということから考えると、学校としては、各教科や領域で課題解決型の学習などに一層力を注いでいきたいということに対して、委員からも賛同する意見がありました。



### ○「豊かな心」について

自己肯定感にかかわる生徒アンケートの結果は、右グラフ（肯定的意見の割合）のとおりでした。自己肯定感をさらに高めるよう、学校としては学校行事や生徒会活動などの特別活動をはじめとした様々な活動について、生徒の主体性をより一層高めたり、一人一人が活躍できる場をさらに創出したりすることを通じて実現していきたいという学校の考えに対して、委員からもそのような活動の推進を望む意見がありました<sup>1</sup>。

また、「いじめはどんな理由があってもいけないと思う」という生徒アンケートで、「とてもあてはまる」は69%である一方、「あまりあてはまらない」が6%、「全くあてはまらない」が4%であることに対して、委員から全員が「とてもあてはまる」になるようにといった意見がありました。



経済開発協力機構（OECD）の調査報告書をはじめとする様々な研究調査において、『well-being（幸福、満足のいく状態、快適な暮らし、成功など）』にとって、学力や体力のような認知的能力と同等あるいはそれ以上に重要であるといわれているのが、「自己肯定感（自尊心）、思いやり、共感性、受容力、協調性、社交性、誠実性、自制心、責任感、意欲、忍耐力といった」非認知的能力（社会情動的スキル、性格スキル、ソフトスキル）、つまり、心です。

**★これからも「夢・命・絆」を大切にしよう★**

### ○「健やかな体」について

保護者アンケートにおける「お子さんは、すすんで（外で遊ぶなど）体を動かしている」では、昨年12月から高まっている結果となっており、市川市内の平均を上回っているものの、体力面に関しては、二中における長年の課題となっています。

この点について体育の授業などを中心に、子どもたちの体力向上に取り組んでいきたいという方針に、委員からそのようなことを望む意見がありました。

また、テレビ、ゲーム、携帯電話（スマホ含む）などのメディアから離れる「アウトメディア week」を実施し、生活習慣の改善（望ましい生活リズムの確立）を進めていきたいという学校としての取り組みについても同意されました。

<sup>1</sup> なお、中央教育審議会「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について（答申）」（平成27年12月）では、コミュニティ・スクールの子どもたちにとっての魅力として、「信頼できる大人と多くの関わりを持ち、愛情を注がれることにより、自己肯定感や他人を思いやる心など、豊かな心が育まれる。」と指摘していますとおり、学校や家庭、さらに、地域で子どもたちにかかわっていくことが大切であると考えられます。

## ○「信頼される学校」について

「学校は、保護者の思いや願いに対して適切に対応している」や「学校は、子ども一人一人に適切な指導や支援を行っている」などに対して、保護者アンケートは昨年12月の結果から改善されおり、また、市川市内の平均を上回る結果となりました。また、生徒アンケートで、「二中は、安心して生活できる学校だと感じている。」に対して、約87%が肯定的な回答となりました。

このような好ましい結果に、協議会として満足するとともに、今後も、生徒一人一人に温かい対応を推進し、さらに、情報発信についても工夫して行って欲しいと考えています。

## 2. 報告及び意見交換

### (1) コロナ対応について

修学旅行はディズニーランドにし、合唱コンクールは延期し、また、11月20日(土)のオープンスクールは実施の方向であることとの報告がありました。

### (2) 学校の様子について

- ・須和田の丘支援学校の新校舎建設に関する説明がありました。
- ・タブレットを9月1日に全生徒に配付して活用に努めていると説明がありました。
- ・新制服について、生徒アンケートの結果で決定したと説明がありました。

## 「第二中ブロック地域学校協働本部」の活動報告

9月4日(土)に、「第二中ブロック地域学校協働本部」(地域学校協働活動推進員会議)を開催する予定でしたが、緊急事態宣言中ということで延期することになりました。「第二中ブロックみまもりたい」は当該事業の一つです。



「広報いちかわ」の8月21日号で「子どもたちの未来を守れ 安全安心な通学環境づくり」という特集で、この事業について、取り上げられました。詳しくは、市川市のホームページ(下記QRコード)を。



### 地域で連携した通学路の見守り

地域と学校が連携してつくるコミュニティ・スクールでは、地域住民のボランティアが中心となって登下校時の通学路の見守り運動を行っています。

☎383-9386 学校地域連携推進課

### 「みまもりたい」

コミュニティスクール 第二中学校ブロック (第二中学校・真間小学校・菅野小学校・須和田の丘支援学校)

「みまもりたい」は、第二中学校の学区内を通学する児童生徒を交通事故から守るため、地域住民によって結成されました。毎日の登下校の時刻に合わせて、学区内の交通量が多い危険箇所を中心に、現在30人以上のボランティアの方々が活動しています。

▲地域の危険箇所をもとにしたマップを独自に作成し、ブロック内の全家庭に配布

「みまもりたい」の結成は約3年前。外環道ができた影響で、菅野小学校では通学路が二分され、この地域の交通量の増加を心配していました。そこで登下校中の危ない箇所を中心に「みまもりたい」が活動隊を持って立つようになりました。

今年も通学路となっている外環道橋道の交差点に信号機がついて、安全に渡れるようになり安心しています。これからも学校が中心となり、地域の目で通学する子どもたちの安全・安心を守ります。

菅野小学校 地域学校協働推進員 山口 裕子 さん

### 小学校での通学路の危険箇所の把握と安全対策

「あなたはかけがえのない存在。だから、私たちはあなたを見守っています。」